



木戸5121
大木 義夫 さん

いつまでも
きれいな川で

「栗山川も今から40年前は澄んできれいだったので、水を飲みました。20年位前より家庭や工場から有害物質が流れ込み、川の汚れがひどくなり心配です。」と話す大木さん。

サケの捕獲を始めて既に18年、今でも続けられ、栗山川と深い関わりをもっています。

「サケは水温と川の汚れ



サケの捕獲風景



サケの記念碑（木戸地先）

昭和51年から稚魚の放流を開始。55年2月5日初捕獲。61年12月26日念願の1500匹を捕獲。これを記念して建てられました。

栗山川を

花街道にしよう

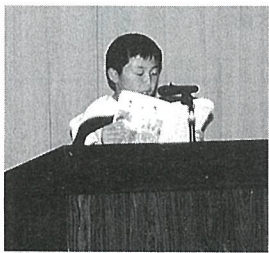
白浜小6年 実川美邦

「美邦/花植えるぞ!

花!」

大きな声を弾ませておっちゃんややってきた。「うん/今いくよ。」

ぼくは、おっちゃんの軽トラックに乗って、栗山川に向かう。「栗山川を花街道にしようの会」を作った



発表する実川君

年め。今年も春になり、いよいよその日が来た。ぼくの住む光町には、サケが上することでも有名な栗山川がある。栗山川の水は冷たくて夏は気持ちいいし、ピチャピチャと音を立てて魚がはねることもある。ぼくの友達も、実際にサケが上っていくのを見たことがあるそう。その栗山川の土手に花をたくさん植えて花街道にしようということをおじさんだ。きつと、栗山川を守る大切な土手を花でいっぱいにし、たくさんの人たちに見てもらおうと考えたんだと思う。

ぼくは、本当のことを言うとうと、最初のころは、あまり行きたくなかった。なぜなら、花を植えるのがめんどくさいし、手がよごれるからだ。でもやってみると、意外に楽しくなってきた。また、この活動の中で新しい友達もできた。「自分で何かをやる」という目標ができて、楽しくなってきた。ぼくたちがやっている花植えの順番は、最初に土手のゴミ拾いをする。おじさんたちは草刈り機で草を刈

つてくれる。当日だけでは刈り終わらないので、おじさんたちが前日までに刈っておいてくれる。それから、いよいよ花を植え始める。なには、穴の中に入れればかんたんだが、種を均等にまくのはけっこうむずかしい。そこで、おっちゃん「秘密兵器」を考え出した。その「秘密兵器」とは、ジューズの空き缶の底にきりで穴をあけ、その缶の中に種を入れ、まくものだ。これを使うと細かい種を楽にまくことができる。おっちゃん、すぐに何でも発明し、作ってしまうから、作ったものだと思う。そして最後に、水をまく。栗山川からバケツで水をくんで、その水をしようろに入れて水をまく。水をくむ時にはかなり力が必要だ。バケツを二つ持って行っても、くむ時には両手でくまない。とバケツが流されてしまう。ひと仕事終わると楽しみにしている昼食だ。昼食はいつもおもちとバーベキュー。花を植えた後、ジューズを飲みながらバーベキューを食べると、いつもの二倍も三倍もおいしく感じる。

